

研究課題名	脳神経疾患の病変部位と高次脳機能・神経心理学的・運動学的検査所見との関連性に関する研究
研究責任者名	広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター 特任准教授 濱 聖司
研究期間	2016年8月22日(実施許可日)～ 2030年3月31日
対象者	2007年4月から2028年3月の間に、広島大学病院脳神経外科・精神神経科学、日比野病院脳神経外科・リハビリテーション科、広島市立北部医療センター安佐市民病院脳神経外科で脳神経疾患（脳卒中、脳腫瘍、てんかんなど）による治療を受けられた患者さんを対象とします。
意義・目的	脳神経疾患で高次脳機能障害、心理的な障害、運動機能障害などが生じますが、それらの症状と関連のある脳病変の部位について、私共も含め、国内外で盛んに研究されていますが、詳細な脳内の関連領域は十分に分かっていません。そこで、今回、今までの多くの脳卒中症例から得られた高次脳機能・心理検査と頭部MRIを解析することで、脳卒中における病変の部位と高次脳機能・心理との関連性を明らかにします（研究①）。また、簡便な検査システムの構築を図り、高次脳機能検査以外に一部は運動機能データも取得し、多施設共同で各種脳神経疾患において特定の症状を引き起こす脳の部位を明らかにします（研究②）。その結果は、脳神経疾患の機序を解明し診断・治療技術の向上とともに、脳機能のマッピング技術につながることで脳神経外科手術の技術向上、ならびにリハビリテーションの効果向上を目指せることから、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ、MRI、SPECT、高次脳機能検査、心理検査）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は身長、体重、性別、動脈硬化関連因子（高血圧・糖尿病・高脂血症・肝腎疾患などの有無とそれらに関連した一般的な血液検査、喫煙歴）です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません） 利用または提供を開始する予定日：2016年8月22日(実施許可日)
共同研究機関	広島大学大学院先進理工系科学研究科システムサイバネティクス専攻、日比野病院脳神経外科、広島市立北部医療センター安佐市民病院脳神経外科、本学に情報を集め解析します。本学から外部への情報提供はありません。
研究代表者	広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター 特任准教授 濱 聖司
共同研究機関	信愛会 日比野病院 ニューロリハビリテーション科・部長・濱聖司 広島市立北部医療センター安佐市民病院脳神経外科 脳神経外科・部長・松重俊憲
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心

ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-1722

広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター 職名 特任准教授 濱 聖司

研究機関：広島大学